

令和6年度

学習の手引き

学校教育目標

心豊かで、夢の実現に向けて全力で努力する生徒

鶴ヶ島市立西中学校

鶴ヶ島市下新田266番地

TEL 049-286-1481

もくじ

学習の手引きについて	3
教育課程について	4
通知表の見方	5～6
国語	7～10
社会	11～13
数学	14～17
理科	18～20
英語	21～23
音楽	24～25
美術	26～28
保健体育	29～30
技術・家庭	31～32
特別な教科 道徳	33
年間学習計画（1年）	34～43
年間学習計画（2年）	44～53
年間学習計画（3年）	54～63
年間行事予定	64～65

令和6年度

**鶴ヶ島市立西中学校
年間行事計画**

※年度内に変更する場合があります。

西中学校「学習の手引き」

西中学校「学習の手引き」は、西中学校における各教科の身に付けたい力、学校での学習の進め方、ノートやワークシートのまとめ方、家庭学習の進め方、教科における評価方法などについてまとめ、生徒の皆さんが「学校での学習」や「家庭での学習」に自ら主体的に活用できるよう作成したものです。

この手引きは、令和2年度から活用を始め、皆さんに少しでも使いやすいうように毎年見直ししています。各教科の年間計画などは、皆さんの学習状況に合わせて工夫して活用してください。

活用のポイントは、以下のとおりです。

- ① 学習目標を明確にして、意欲的に取り組もう。
- ② 授業の進め方を知り、効率の良い学習をしよう。
- ③ 評価の観点と方法を知り、学習のポイントをつかもう。
- ④ 年間の学習内容を知り、見通しを持った学習をしよう。
- ⑤ 家庭学習の方法を知り、授業がさらにわかるようにしよう。

近年ICTの進化において、情報はすぐに検索、閲覧できる社会となりました。西中学校では生徒一人一人に社会人として、情報を正しく活用し、自立し生きていくための力を身に付けさせることを目標に、日々の教育活動に取り組んでいます。そのため基礎的な学力の他に、相手を思いやることや協力することなど、豊かな心を持った生徒の育成を目指しています。これからの社会が、どんなに変化しても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断し、行動して未来を実現してほしいと願っています。

（保護者の皆様へ）

本校の教育活動についてより一層ご理解いただき、ご家庭で子供たちとの話し合いの資料として、この「学習の手引き」をご活用ください。

鶴ヶ島市立西中学校の教育課程について（令和6年度）

（1）本校の授業時間数

区分	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	道徳	特活	総合	合計
1年	140	105	140	105	140	45	45	105	70	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	140	35	35	105	70	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	140	35	35	105	35	35	35	70	1015

（2）日課表

項目	時間	月	火	水	木	金
朝読書	8:30～8:35					
朝の会	8:35～8:40					
1	8:50～9:40	○	○	○	○	○
2	9:50～10:40	○	○	○	○	○
3	10:50～11:40	○	○	○	○	○
4	11:50～12:40	○	○	○	○	○
給食	12:40～13:20					
昼休み	13:20～13:35					
5	13:40～14:30	○	○	○	○	○
6	14:40～15:30		○	○	○	○

清掃	月	14:35～14:45	火・木・金	15:35～15:45	水	清掃なし
帰りの会	月	14:55～15:05	火・木・金	15:55～16:05	水	15:35～15:45

○朝会について（8:30から体育館で始めます）

- ・学校朝会、・生徒朝会（月1回火曜日）
- ・学年朝会（必要に応じて）

○水曜日の放課後（部活動はありません）

- ・学年学級の日
- ・生徒会専門委員会の日、中央委員会の日

○集金日

- ・原則各月の第一水曜日

○あいさつ運動

- ・月1回水曜日に実施。

○定期テスト5日前からテスト実施終了日までは部活動停止期間です。

○部活動については、鶴ヶ島市立西中学校の活動方針に基づいて実施します。

通知表の見方

これからの変化の激しい社会においては、学校で学んだ知識や技能を活用し、思考力・判断力・表現力を高め、子どもたち一人一人が自ら個性や能力を生かして、未来を切り拓いていく力を育成することが求められます。

このために必要となるのは、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな人間性」、たくましく生きるための「健康や体力」などの「生きる力」です。この「生きる力」を身に付けるためには、学校だけでなく、家庭や地域と一体になって取り組むことが大切です。

本校では、学校・家庭・地域が一体となって、「授業に燃える 学校行事に燃える 部活動に燃える 生徒」「母校を誇りに思い仲間を大切にしている生徒」を目指す生徒像として設定し、質の高い教育活動を展開し、子供たち一人一人の夢の実現に向け取り組んでいます。

通知表については、各学期ごとのお子さまの学校での授業に対する取組や学校生活の様子を家庭に伝え、将来の夢の実現に向け、学校生活を充実させることを目的として作成しています。

各ご家庭では、この通知表を通じて、普段の教室での授業の取組だけでなく、美術の作品や音楽の合唱での取組、体育や技術・家庭科での取組などを振り返り、お子様のそれまでの成果と課題をしっかりと確認し、学習意欲の向上につなげてください。

1 学習状況の評価（例）

教科	評価の観点	評価	評定
【観点別学習状況】 各教科のねらいに沿った評価の観点・規準に照らして、どの程度、目標を達成できたかを評価します。 A：十分満足できる（80%～100%程度） B：概ね満足できる（80～45%程度） C：努力を要する（45%～0%程度）		A	4
		B	
国語	思考力・判断力・表現力	A	
	主体的に学習に取り組む態度		
各教科で、1年間 学習する内容については、「シラバス」をご覧ください。			

【観点別評価】の主観点

- ①知識・技能
- ②思考力、判断力、表現力
- ③主体的に学習に取り組む態度

※新学習指導要領に沿って令和3年度より3つの観点別評価基準に従って評価します。

*観点別評価と評定について 全教科を学期ごとに記載します。

※1・2年技術家庭科の評定は、2学期と3学期の年2回です。

観点別評価と評定との関係

観点別評価	評定
AAA	5
AAB	4
ABB	4～3
ABC	3
BBB	3
BBC	3～2
BCC	2
CCC	1

- 観点別学習状況は、個人が、教科のねらいをどれだけ達成したかをABCで評価します。
- 観点別学習評価（ABC）を基に、評定（5段階）を出します。
 評定基準は、
 - 5：十分満足できるもののうちさらに程度の高いもの
 - 4：十分満足できるもの
 - 3：満足できるもの
 - 2：努力を要するもの
 - 1：さらに努力を要するもの

となっています。

- 2 総合的な学習の時間の記録（例）
 1 学年テーマ：基礎学習 キャリア学習
 2 学年テーマ：国際理解教育 キャリア教育
 3 学年テーマ：福祉教育 キャリア教育

• 課題設定、課題研究、学習態度、表現発信等をもとに、学期ごとに教師の評価を文章で記入します。

自分の課題・取組の様子
生徒個人の課題が書いてあります

- 3 行動の記録 ○：優れているもの △：努力してほしいもの 空欄：普通のもの

評価項目	
基本的な生活習慣	○
健康・体力の向上	
自主・自律	
責任感	
創意工夫	
思いやり・協力	
生命尊重・自然愛護	
勤労・奉仕	△
公正・公平	
公共心・公德心	

普通の生徒の行動からみて、特に優れている項目には○、普通の項目は空欄、努力してほしい項目には△、になっています。

* 基本的な生活習慣には、「服装」「時間を守る」の他に「挨拶」なども含まれます。

* 清掃では黙々と清掃に取り組んでいます。自ら進んで清掃活動に取り組めたかどうかについても含まれます。

- 4 特別活動の記録 … 委員会、学級の係、部活動などが記入してあります。
- 5 出欠の記録 … 授業日数、出停・忌引数、欠席日数、出席日数が記入してあります。
- 6 担任から … 3 学期に文章にて記載します。学級担任から見た生徒の様子、それに対する担任の所見が記入してあります。
※1、2 学期は三者面談等にてお伝えします。
- 7 「特別の教科 道徳」の評価は、3 学期に文章にて記載します。
- 8 その他
- 通知表における「学年の成績」は 1 学期～3 学期までの成績を総合して評価します。
 - 3 学年の「調査書」は 1 学期と 2 学期の成績を総合して評価します。